

広報

三の之

2007

4

もっとうもっとう 輝きを増すように。

九重町の新年度が始まりました。

昨年度を「戦略元年」と位置づけた自律に向けたまちづくり。その後も着々と進んでいます。

改めて確認したいことがあります。住民自らが地域の問題を主体的に変えようとする自治意識の醸成が一番大事だということ。そのため、私たちはあえて「自立」ではなく「自律」という言葉を選びました。町はもちろん、地域についても自ら律していきながら、町の将来像を住民が主役になって描けたら。そんな願いが「自律に向けたまちづくり」には込められています。町内各地で、地域づくりが始まるなど、良い兆しが現れています。住民のみならずにとって、まちづくりがもっとうもっとう身近なものになるように。そんな取り組みをこれからも続けていきます。

昨年10月にオープンした九重「夢」大吊橋は、4月1日現在通算94万人の集客がありました。これは、予想をはるかに上回るもので、幸先の良いスタートをきることができました。「日本一の規模」が人気を集めている理由の一つなのは間違いありません。ただ、何よりも「多くの人々により守られてきた九重の自然」がある。だからこそその人気です。2005年には、国際的に重要な湿地として、坊ガツル・タテ原湿原がラムサール条約に登録、今月にはセブン・イレブンみどりの基金による「九重ふるさと自然学校」が開校するなど、この自然を次代に引き継ぐ大切さを、私たちに改めて思い起こさせる出来事が続いています。九重町第3次総合計画（2002年策定）では、まちづくりの基調の第一を「自然との共生」にしています。大吊橋も同じです。自然との共生を大事にしながら、この盛況を一時的なものにすることなく、常に多くのみなさんに楽しんでいただけるようなものにしていきます。リピー





今年度はどんな“夢”を？

九重“夢”大吊橋は、今年度はどんな“夢”をもたらずののでしょうか。昨年10月にオープンした“夢”大吊橋はその後順調に客足を伸ばしており、4月1日現在で通算94万人が訪れていいます。今年度も80万人の入場を見込んでおり、その経済効果は近隣の市町にも及んでいます。また、町の観光の長年の課題であった「通過型」から「滞在型」観光への転換も橋のオープンを機に進んでいます。しかし、予想以上の来場者に、多くの問題も生じています。町では今年度、周辺の必要な施設・環境整備、アクセスの整備を図る一方で、現在検討されている「やまなみハイウェイ沿線シーニックバイウェイ（風景街道）」や「くじ

ターをふやす対策も強化しなければなりません。町内のさまざまな産業が連携することが今後はさらに重要になってきます。

“夢”大吊橋をきっかけに、九重町は輝きを増しています。これからは、住民一人ひとりの輝きをもっと、もっと増すように。そんなまちづくりを今年度もします。

ゆうワイズユース（適正利用）、さらにはすでに始まったグリーンツーリズムなどと連携して、さらなる観光振興を目指す「攻めの姿勢」も強めていきます。ただ、改めて認識しておかなければならないのは、大吊橋は単なる観光施設ではないということです。九重町の恵まれた自然・資源を次代に残す決意を新たにする場所でもあります。観光振興とともに、環境を保全する運動も展開します。

再三繰り返してきたように、橋を作っただけでは意味がありません。そこから住民みんななどで付加価値を生み出していくかです。さあ、みなさん、一緒に“夢”に向かっていきましょう。

2007

KOKONOE

たとえば、
こんなことに取り組みます

- 鳴子川溪谷及び周辺整備事業費 5833万円
休息所や人工芝設置工事など
- 大吊橋施設管理費 1億4390万円
- 景観づくり事業委託 300万円
ミニポケットパーク造成や風倒木処理

2007年度の九重町

今年度の最重要課題

ブロードバンドの環境基盤整備

九重町は県内で唯一ブロードバンド（高速・大容量インターネット）がない町です。ブロードバンド整備については、多くの住民のみな

さんから要望があり、昨年度は公共施設間を光ケーブルで結ぶ「地域インターネット基盤整備事業」を行いました。問題はこれからです。多くのみなさんにとって、各家庭などへの開通が大きな関心となりますが、現在の試算では、大吊橋建設に匹敵する事業費が必要となり、その後の維持費のことも考えると、町の財政を一気に圧迫させるかもしれません。今年度は、ケーブルテレビ事業を含めた町内の環境整備に向けた経費を明らかにするため、基本設計を行い、維持管理費や加入者利用料金などを試算。住民の合意形成を図っていきます。

2007

KOKONOE

たとえば、
こんなことに取り組みます

- 地域情報推進事業費（基本設計委託ほか） 9207万円
町内のブロードバンド化に向けた工事の設計委託



ピンチをチャンスに

日々新しい命が土から生まれていきます。九重町は農作物の一大生産地。多くの生産者のみなさんが、日々、誇りを胸に、土に生きています。

「基幹産業の風格にゆるぎなし」のほすですが、農業をめぐる環境の激変は依然続いています。今年度から「経営所得安定対策等大綱」による施策が本格スタートします。これまでの品目的見地から、担い手一人ひとりの経営規模に着目したものに變更するとともに、米をめぐるよりも消費者重視・市場重視の考えに立つたものへと転換します。さらには農業の持つ環境保全機能に着目、効率的・安定的、そして質的向上が図られる農業構造の確立が求められるようになります。今回の改正では、大規模経営指向が見られるなど、決して九重町にとつてすべてが有利なものではないかもしれません。しかし、制度を有効活用しながら、担い手を中心とした強い農業づくりをめざしつつ、米を基幹に一村六品、さらには白ネギ、ブルーベリーを戦略品目として推進していきます。

農業をめぐる状況は相変わらず厳しいものがあります。

しかし、同時に九重町の農業はピンチをチャンスに変えられる力もあるはず。消費者の安心・安全指向やグリーンツーリズムに注目が集まるなど、農業に追い風も吹き始めています。修学旅行生や都市住民との交流に努めるなどグリーンツーリズムを支援するほか、地域づくりの見地から、さらには冒険に揭げた新制度に対応する意味からも集落営農の推進をします。

畜産は、引き続き低コストで高品質な肉用牛生産を推進するとともに、増頭にも努めます。酪農についても乳量の増加や粗飼料自給率と飼育管理技術の向上に努め経営の安定化をめざします。肥育については経営体質の強化と豊後牛の銘柄を確立するため、地域内繁殖・肥育一環経営を推進します。さらに家畜排泄物の管理の適正化と利用の促進に努め、耕種農家との連携を図り環境にやさしい循環型農業を推進します。

町の大部分を占めるのが森林です。その多面的な機能を保持させていくため、育林事業や林道などの生産基盤を整えるなどさまざまな事業を推進します。

たとえば、

こんなことに取り組みます

- | | | | |
|---|--------|--|--------|
| ●野菜価格安定資金負担金
野菜(トマト・白ねぎ等)の価格保障制度 | 500万円 | ●採草放牧地防火帯等設置事業補助金
牧草地を野焼きする際の防火帯設置に対する補助金 | 124万円 |
| ●園芸農業構造改革対策事業(野菜)補助金
トマトハウス、白ねぎ管理機などの導入 | 1445万円 | ●町単水路農道改修工事補助金 | 500万円 |
| ●園芸農業構造改革対策事業(花き)補助金
花きハウス、露地栽培電照施設などの導入
果樹対策の補助金(55万円)もあります。 | 525万円 | ●中山間地域総合整備事業負担金 | 1625万円 |
| ●活きいきハウス導入事業補助金
小規模ハウス導入に対する補助金 | 100万円 | ●中山間地域等直接支払事業補助金
農業生産条件の不利を補正するため、農地保全などの共同取組活動等に対する補助金 | 6121万円 |
| ●体験農園補助金
各小学校が実施する体験農園への補助 | 30万円 | ●低コスト簡易作業路緊急対策事業補助金
しいたけ生産にかかる作業路開設に対する補助金 | 368万円 |
| ●集落営農体制整備推進事業補助金
集落営農組織の農業機械購入補助 | 667万円 | ●生産基盤高度化緊急対策事業補助金
しいたけ生産にかかる施設・機械への補助金 | 1521万円 |
| ●低コスト肉用牛大規模経営体育成事業補助金
繁殖牛用の畜舎建設に対する補助金 | 584万円 | ●間伐等推進総合対策事業補助金
一般間伐や8・9齢級(1齢級は5年)の切捨て・間伐に対する補助金 | 1022万円 |
| ●繁殖優良雌牛保留推進事業補助金
町の改良方針に沿う雌牛の保留に対する補助金(100頭分) | 500万円 | ●椎茸原木供給システム構築事業補助金
椎茸原木の伐採、搬出等の共同作業機械等の導入補助金 | 120万円 |
| ●高能力雌牛系統整備事業補助金
育種価の高い雌牛を残すための入れ替え | 93万円 | ●森林整備地域活動支援交付金事業補助金
森林施業計画内の地域活動に対する補助金 | 3908万円 |
| | | ●森林環境保全事業補助金
うるが水台(南山田)の湿原の保全活動 | 150万円 |



●保健福祉

やっぱり、一番大事なものの



行政と住民がともに連携しながら、健康で真の豊かさの実感できる社会を実現すること。それが保健福祉の役割です。しかし、状況は決してよくありません。目前に迫った超高齢社会は、年金や医療、介護保険といった諸制度に大きな影を落としています。国はかつてない改革を次々と打ち出し、予防重視型に大きく舵（かじ）を切るなどしながら、財政支出の削減に努めています。利用者負担の原則もその一つといえます。ただ、どんなに制度が変わろうと、「誰もが健康で生きがいを持ちながら生活していくのを支援すること」が目標に変わりありません。現在、「健康このえ21計画」に基づき事業を展開していますが、5年目にあたる本年度は見直しをします。合わせて、より効果的なものとなるよう生活習慣病予防に向けた体制の見直しやうつ病をはじめとした心の健康づくりの推進もしていきます。

それまで別々だった身体・知的・精神の制度が一体化したことで、改善したことも多くありますが、利用者負担の増大を招いたことが大きな社会問題となりました。引き続き国などの負担軽減措置を活用しながら適切なサービスの確保に努めます。

児童福祉にも大きな動きが今年度にあります。長年の懸案だった放課後児童クラブが東飯田地区でスタートします。他地区でも事業の展開に向けた道筋を探ります。

昨年、制度開始以来、もっとも大きな改正があった介護保険。同時にスタートした地域包括支援センターも2年目を迎えました。現在、介護保険利用者は町内で614人（認定者は775人）です。年々高齢化が進み、介護給付費がさらに膨らむことが見込まれますが、引き続き介護給付の適正化に努めるとともに介護予防にも力を入れていきます。今年度は新たに認知症予防事業の展開も始めます。

たとえば

こんなことに取り組みます

- 在宅重度障害者住宅改造事業補助金 140万円
身障手帳1・2級を持つ障がい者がバリアフリー住宅に改造する際の補助金。上限額あり。
- 重度心身障害者医療費 2400万円
身障手帳1・2級、精神障害者保健福祉手帳1級、療育手帳Aを持つ障がい者の医療費補助
- 身体障害者（児）補装具・更正医療 合計660万円
身体機能を補完、代替する用具や医療。車椅子、補聴器、人工透析、ペースメーカー手術など
- 重度身体障害者（児）日常生活用具給付事業 合計160万円
障がいを軽減し、日常生活を向上させるための用具、痰吸引機など。
- 障害者居宅介護サービス費 330万円
ホームヘルプなどの自立支援サービス
- 障害者生活介護費（デイサービス） 535万円
- 障害者移動支援費 169万円
- 児童デイサービス支援費 257万円
障がいのある児童の通所によるサービス
- 緊急通報システム業務委託 277万円
一人暮らし高齢者等の緊急通報システムの運営費
- 在宅高齢者住宅改造事業補助金 127万円
バリアフリー住宅への改造費補助。3件分。
- 老人はり・きゅう・按摩施術料助成費 72万円

- 社会福祉施設利用者負担軽減事業 99万円
介護保険在宅サービス利用者のうち、低所得者に対する利用料軽減措置
- ブックスタート事業委託 14万円
新生児に絵本（3冊）をプレゼントほか絵本を通じた子育て支援
- 子育て短期支援事業委託 25万円
一時的に保育されない児童などを預かる制度
- 放課後児童健全育成事業補助金 135万円
放課後に保護者が家庭にいない児童の預かり（東飯田小で実施）
- 児童手当 7173万円
（月額）3歳未満は1万円、3歳以上～小学生は第1・2子5千円、3子以降1万円
- ひとり親家庭医療費 350万円
- 集団健診委託 2598万円
毎年5月から8月まで町内各地で行われている基本健診やがん検診
- 妊婦・乳幼児健診関連 274万円
1歳6月・3歳健診、妊婦・乳児検診など
- 乳幼児医療費 634万円
0～3歳は外来・入院・食事代、4歳～就学前は入院の自己負担額を助成
- 難病患者等居宅生活支援事業費 51万円
- 予防接種業務委託 1172万円
インフルエンザ、三種混合など



町の活力のもと。

安心・安全

安心して安全に暮らせるまちづくり。それは、住民すべての願いでもあり、町の活力を育む大前提といえます。九重町は、これまで自然災害の恐ろしさを痛感させられることを数多く経験してきました。町内には地震発生の原因のひとつとされる活断層が数多く走っており、地震発生の可能性が高い地域でもあります。災害の未然防止はもちろんだ、災害時にも被害を少なくする取り組みをする必要があります。その際に、大きな力



より便利に、快適に。

交通・住宅・水道

大分自動車道の4車線化、そして九重「夢」大吊橋が完成したことで、町内の交通量は飛躍的に増加しました。今後もこの傾向が続くことが見込まれることから、円滑な交通体系を確保するため、道路ネットワークの整備に引き続き努めます。大吊橋に通じる県道バイパス工事はすでに着手しており、平成20年度には完成予定です。その後は、交通渋滞の解消や観光客



借り物をしっかりと次代に。

環境保全

「環境は祖先からの遺産ではなく、子孫の代からの借り物である」。地球温暖化のスピードがますます速まっています。今、世界各国がこの問題に取り組んでいます。私たちが一人ひとりが積極的に向かい合い、生活を見直していくことが大きな力になります。廃棄物や自然環境破壊など他の問題についても、本町では「九重の自然

と成るのは住民と行政、防災関係機関の連携です。「自分たちの地域は、自分たちで守る」住民の連帯感を大切にしながら、先日策定した「地域防災計画」を基本に、自主防災組織や災害ボランティアの育成など総合的な防災体制の確立に努めます。最近、国内での犯罪発生率は上昇傾向に転じています。子どもや高齢者などの弱者を狙った犯罪も多発しています。ここでも行政と住民の連携、良好な住

の誘致に大いに期待できます。町道関係では、宝泉寺栗原線バイパスの2工区の施工中であり、早期完成に努めます。その他の町道については、順次計画に沿って整備していきます。町営住宅は老朽化が著しく、早急な整備が必要となるところがありますが、恵良住宅第2期工事で大規模整備が一応終了しました。その他の住宅整備については「ストック総合活用計画」に

町生活環境条例」等に基づいて、総合的な取り組みをしています。この条例の一層の周知徹底と啓発活動を行います。昨年、「くじゅう坊ガツル・タテ原温泉」が国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。登録されたのは、もちろん名誉なことですが、ゴールではなく、途中経過にすぎません。町内には「九重の自然

を守る会」をはじめとする団体や個人による環境保全活動が積極的に進められています。今年度は新たにセブン・イレブンみどりの基金による「九重ふるさと自然学校」が4月に開校します。町では各種団体と協働して、積極的に自然景観や環境の保全に取り組みます。

添って、引き続き計画的な推進に努めます。しかし、財政状況を見通しながら、総合的な見直しを検討する時期も迎えています。町営簡易水道は順次整備を進めてきましたが、全体的な整備はほぼ完了しました。今後は、各水道の管末などの劣化状況等を検討しながら、計画的に更新していきます。

犯罪にあわれない、犯罪を起こさせない地域の環境づくりが重要になってきます。一人ひとりの防犯意識の高揚や地域でのさまざまな取り組み、さらには学校をはじめとした関係機関の連携を後押しします。交通安全対策も大きな社会問題です。特に昨年来、飲酒運転については大きな問題となりました。その追放・撲滅に向け、関係機関と協力しながら町民運動としての展開を推進します。

2007

KOKONOE

たとえば、こんなことに取り組みます

- 常備消防費 1億5537万円
- 非常備消防費 3289万円
- 自治消防団関係ほか
- 無線施設保守点検委託 280万円
- 農地災害復旧費 1億9460万円
- 林業施設災害復旧費 715万円
- 道路橋りょう災害復旧費 5501万円



2007

KOKONOE

たとえば、こんなことに取り組みます

- 道路維持費 5270万円
- 町道の維持管理費。工事 (3900万円)、凍結防止剤 (252万円)、原材料費 (331万円) など
- 道路新設改良費 1億4450万円
- 町道の改良工事費
- 緊急地方道路整備事業費 1億9727万円
- 宝泉寺・栗原線の道路改良工事
- 地籍調査費 4879万円
- 今年度は大字田野の一部と大字後野上の一部を予定

2007

KOKONOE

たとえば、こんなことに取り組みます

- 石鹸工房委託 31万円
- ラムサールフォーラム in くじゅう開催負担金 82万円
- 11月に竹田市で開催
- 生ごみ処理容器購入補助金 9万円
- 購入金額の2分の1補助 (3000円まで)。30個分
- 合併処理浄化槽設置補助金 2178万円
- 浄化槽の大きさにより33万~54万補助。50基分
- 清掃費 2億2252万円
- 生ごみ処理、し尿処理にかかる経費



町に磨きをかけるのは地域。

●地域、産業振興

2007年。団塊の世代の大量退職が始まるこれから、日本の社会も大きな環境変化を迎えそうです。その一つが田舎暮らしやふるさと志向の高まりです。これは若い世代にも広がりを見せており、引き続き、U・J・ターン対策として、空き家情報の収集を行い、移住希望者への情報提供に努めます。

定住促進、雇用拡大の面から、企業立地や企業誘導は大きな魅力です。全国的には景気回復の歩調が強まっているといいますが、依然として地方では厳しい状況が続いています。引き続き情報収集や受け皿づくりに努め、この状況打破をめ

ざします。

町内の商工をめぐる環境も依然厳しい状態が続いていますが、この状況をただ黙って見過ごすのではなく、昨年度は商工会を中心となり町の特産品のブルーベリーや温泉を使った新商品を開発するなど、「攻めの姿勢」を強めています。町としても人材育成事業などを通じて、こういった取り組みを積極的に支援していきます。2000年度から始まった「商品券事業」はプレミアム（割り増し）がつくことが好評で、町内の消費拡大に貢献しています。引き続き支援します。

町はみんなのもの。

お互いに話すことから始まる。何にでもいえることですが、まちづくりも同じです。住民のみなさんが、しっかりと町の情報を持っていてこそ、「住民参加」や「協働」が可能になります。その意味で、広報広聴活動は大変重要な役割を担っています。事業や施策について適時に情報発信することにより、住民参加が可能となる広報活動。住民の意見や要望を町政に反映するために、あらゆる機会を通じて「対話の町政」などの広聴活動の充実に努めます。町民に必要な情報をより早く提供する広報ここのえの発行、町長と語るふれあいタイム（月2回）、町づくり懇談会の開催、パブリックコメントの実施など広聴活動の充実をします。



出前講座

●広報、広聴

●人権擁護



隣保館ふれあいひろば

一歩ずつ着実に。

伝えていくべきよき文化の中に「人権尊重の理念」を、そんな取り組みを今年度も続けます。国連では、世界平和と秩序のキーワードが「人権」であることを確認し、「人権教育のための世界プログラム」を提唱、九重町でもこの動きを受け、同プログラムの「九重町行動計画」を2005年に策定、さまざまな取り組みをしてきました。しかし、世界ではテロなどの紛争が相次ぎ、国内でも女性への暴力、子ども、高齢者、障がい者へのいじめや虐待、さらに最近のインターネット上での差別や誹謗中傷には目にあまるものがあります。このため、昨年度「九重町人権施策基本計画」の策定を行い、人権施策の総合的な見直しをしました。これは、人権教育や啓発を総合的に推進し、今後の「人権行政の確立」「人権文化の醸成」に向け、第一歩を踏み出そうというものです。今年度はその歩みをさらに強固なものとするともに、町職員についても、諸施策のあらゆる場面で人権に深く関わっていることから、人権教育の充実に一層取り組んでいきます。

昨年度20周年を迎えた隣保館は、人権のまちづくりの拠点としてだけでなく、地域住民の交流の場として機能しています。今後、住民ニーズにしっかりとこたえる隣保館運営を進め、活動や事業運営の創意工夫に努めます。

2007 KOKONOE

たとえば、こんなことに取り組みます

- バス路線運行費補助金 1900万円
バス路線の赤字補填
- 九重ふるさと祭り補助金 350万円
- 地域づくり推進事業補助金 20万円
自主的な地域づくり活動に対する補助金。
1件5万円を限度
- 地域づくり協議会補助金 100万円
まちづくり条例第7章にある「地域づくり協議会」の計画策定及び実際の活動の際に対する補助金
- 地区協議会支援事業補助金 40万円
4地区が行う地域づくりへの支援
10万円×4地区
- 結婚祝い金 150万円
- 九重町商工会商品券事業補助金 200万円

人生 そのものが 学びの場



昨年、約60年ぶりに教育基本法が改正されました。その後、内閣により設置された教育再生会議から提言が発表されるなど、教育をめくつては、大きな変化の時代を迎えようとしています。一方、いじめや不登校、学力低下など、さまざまな問題が山積しています。提言されている改革案を実行に移すことで、すぐにこれらの問題が解決されるとは限りませんが、一つ言えるのは、教育関係者が熱い志をもち、諸問題に取り組むことが最も重要だということです。九重町でも、就学前教育・学校教育の問題は山積していますが、学校・家庭・地域の連携・協力をさらに進め、熱い志を持ちながら教育力の向上に努めます。

人生そのものが学びの場なのかもしれない。年齢に関係なく学び続ける人は、輝いて見えます。町では、引き続き、住民の学習要求などを踏まえ、自ら学ぶ意欲とニーズに応じた学習機会の充実に努め、誰もが生きがいを創造できる生涯学習基盤の整備や支援に取り組みます。

来年はいよいよ「チャレンジ！おおいた団体」の年です。九重町は成年の男子・女子ホッケー競技の会場になっています。成功に向け、「九重町実行委員会」を中心として運営・諸準備に取り組みます。

個人の能力と個性が輝く生涯学習社会の実現を目指して、就学前教育・教育、学校教育、社会教育のより一層の充実と連携の上に、2007年度の九重町の教育が始まります。

2007

たとえば、
こんなことに取り組めます

KOKONOE

● 保育園費	2億1427万円
● 幼稚園費	7736万円
● 小学校関連	7374万円
● 中学校関連	4967万円
● スクールガードリーダー	51万円
● 給食センター食材費	4748万円
● 人材育成事業補助金	310万円
一般公募の研修などへの補助	
● ジュニアデザイン会議補助金	45万円
● カッコウの翼補助金	180万円
● 文化センター自主事業費	500万円
スペシャル・チャイニーズ・アクトバットなど 4回開催予定	
● 図書館図書購入費	180万円
● 国体推進事業費	3968万円
リハーサル大会 (1350万円) ほか	



2007年度九重町の教育



教育委員会を公開

九重町教育委員会では、今年度より会議の様子を公開。2月28日では8人が傍聴しました。教育委員会は都道府県レベルと市町村レベルの2段階であり、学校の管理運営をはじめとして、社会教育や学術・文化などについて助言指導。九重町では5人の委員がおり、月2回以上のペースで開かれています（委員長は若松平八郎さん）。

この日、主な議題になったのが学校再編問題。委員会では、通学手段などさまざまな見地から議論をしてみました。教育委員会の様子が公開されるのは2001年に法が改正され、「原則公開」とされたため、委員会関係者は、「フライバシーに関わることを取り扱う場合は非公開となるが、できるだけ公開していきたい」と話していました。



問い合わせ：九重町教育委員会（☎76-3812）

◆ 「基礎・基本の徹底」と「生きる力」を育む学校教育

- ① 「基礎・基本の徹底」を図るため、各学校は、児童・生徒の学力の実態把握に努め、各校に地域の人を含めた学力向上会議を設置し、基礎的・基本的な内容の確実な定着をめざします。「総合的な学習の時間」を中心に学校外の人材や地域の教育資源をも積極的に活用するなどして、一層の創意工夫のもと、子どもが自ら考え、行動する機会を与え、困難な問題を自らの力で解決していく、より確かな「生きる力」の育成に努めます。
- ② 研究指定校における研究実践では、19年度継続研究校として、野上小学校が（県）大分元気っ子体力アップ事業、南山田小学校並びに淮園小学校が（県）ボランティア協力校、東飯田中学校、飯田中学校が（町）ボランティア協力校の指定事業に取り組みます。
- ③ 児童・生徒のいじめ・不登校、非行等の問題行動については、学校での指導体制の充実・強化はもとより、家庭、地域との連携を密にしながら適切できめ細かな対応をします。引き続き教育相談事業（親子）やスクールカウンセラーの派遣事業等に取り組むほか、子どもたちから直接相談を受ける機会の多い養護教諭向けの研修会を計画・実施します。学校での危機管理対策については、「危機管理マニュアル」を基に、各学校に合った管理対策の指導に努めます。
- ④ 学校週5日制は、家庭や地域での生活の中から「生きる力」を育み健全な成長を促すことがねらいです。青少年健全育成協議会やPTA等の諸団体へ働きかけながら、様々な体験的活動の場の提供を支援します。そのための学校施設の利用についても有効活用を促進します。
- ⑤ 学校での人権・同和教育は、「学校における人権・同和教育の基本方針及び留意事項」を基本に「地区を語る取り組み」を推進します。計画の推進にあたっては「人権教育の指導方法等の任り方（第二次とりまとめ）」を指針に、教育活動全体を通して人権・同和教育に取り組みます。また、学校の取り組みを地域に広め、PTAや保護者との連携に努めます。
- ⑥ 情報教育については、高速通信ネットワークの接続により、学習情報の共有化、双方向での情報交換、さらには学校間のテレビ会議等も可能になりました。今年もコンピューター関連機器の保守と情報教育を支援するため、定期的に専門員を各校へ派遣し、幅広い分野での利活用を促進します。
- ⑦ 学校再編は、九重町学校再編検討委員会の昨年9月の答申を受けて、町ならびに町教育委員会として再編計画の素

- 案づくりをしています。今後、地区別懇談会等を実施し、住民の合意形成を図り計画的に再編整備を推進します。
- ⑧ 学校施設の耐震化と老朽化に伴う構造強化はこれまで実施してきた耐震診断結果と、策定する学校再編整備計画（仮称）との整合性を図りながら安全・安心な学校づくりに努めます。
 - ⑨ 外国語指導助手（ALT）については、学校での英語授業の助手としての任務だけでなく、校内行事等での教職員、生徒との交流を促進し、併せて町内で開催される各種イベントへの積極的な参加を通して国際交流にも貢献します。小学校・幼稚園へのお出かけ教室も実施します。
 - ⑩ 学校給食は、衛生管理に万全を期すと共に、引き続き地産地消の観点から地元産の安全で新鮮な食材の確保に努めます。また、「学校給食献立委員会」に保護者の参加を促進し、献立に対する基本的な考え等、食育の面からの指導支援に努めます。

◆ 就学前教育及び保育の充実

幼保を一体化した「こども園」は、既存施設を使用して運営するため一部の課題はありますが、保育・教育の面では高い評価を受けています。全国では「認定こども園」の取り組みが始まり、県内で1園が認定されました。本町の「こども園」が県の認定を受けることは可能ですが、当面、全国の動向に注視しつつ、本町における課題の解消と一体化運営のさらなる充実に努めます。

◆ 生涯学習社会に対応した社会教育の推進

- ① 町民各層の自らの学ぶ意欲とニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」が、生き甲斐のある人生を創造できる生涯学習基盤の整備や学習機会の拡充に努めます。
- ② 生涯学習課・地区公民館を中心に、各種リーダーの養成・家庭教育・青少年教育・高齢者教育・女性教育・文化芸術等にかかわる各種展示会や講座などの各種事業の充実強化に努めます。
- ③ 国際交流事業を推進します。
- ④ 「このえ男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会実現の推進に努めます。
- ⑤ 文化センターを活用した事業の推進を図り、町民の芸術文化に対する意識の高揚に努めます。
- ⑥ 文化センターの図書館の整備充実に努め、利用促進に努めます。
- ⑦ 福祉部局の「放課後児童クラブ」との連携を図りながら「放課後子ども教室」の創設に努めます。
- ⑧ 広く住民を対象にした「パソコン教室」を引き続き開講します。
- ⑨ 各地区青少年健全育成協議会や家庭・

地域社会との連携を図り、青少年の健全育成に努めます。

- ⑩ 「ふるさと人材バンク」を活用し、学び合い教え合う体制づくりに努めます。
- ⑪ 「出前懇談会」等の研修・学習活動の支援に努めます。
- ⑫ 地区集会所の建設推進と自治公民館としての活用を図ります。

◆ 人権・同和教育の推進

- ① 全住民を対象に、部落差別をはじめ様々な差別問題などを解消するため、課題別、対象別に継続的な学習機会の提供に努めます。
- ② 学校で地区を語る授業の実施と、PTAを対象にした学習の充実強化を図ります。
- ③ 公民館などの学級・講座に「人権・同和教育学習」を位置づけるなど、人権・同和教育の充実に努めます。
- ④ 同和地区での子ども会活動、解放学級、解放奨学生活動などの解放教育の促進に努めます。
- ⑤ 人権にかかわる経験や知識を有する人を発掘し、積極的な活用を図ります。（講師団の結成）

◆ 文化財の発掘・保護・顕彰事業の推進

- ① 町内各地の貴重な文化財を調査・研究するとともに、指定文化財（町・県）に該当するものについては指定作業を推進し、その保護・顕彰（説明版・案内等の設置）に努めます。
- ② 緊急発掘調査に対応できる体制の整備に努めます。
- ③ 歴史資料館の積極的な活用に努めます。

◆ 健康で豊かな生活づくりをめざす生涯スポーツの振興

- ① 町体育協会の支援及び郡体育協会の育成・強化に努め、その協力を得て「一人一スポーツ」の普及推進を図ります。
- ② 体育指導委員や指導者の確保・養成に努めます。
- ③ いつでも、だれでもが気軽に参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の2008年度設立に努めます。
- ④ 「活いきランド」を体育・スポーツの拠点として、各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催に努めます。
- ⑤ 「一村一スポーツ」に指定されているホッケー競技人口の増大を図るためホッケー教室を充実し、小・中学生の競技力の向上に努めます。
- ⑥ 軽スポーツの普及推進に努めます。
- ⑦ 国体のホッケー会場としてふさわしい競技場の整備、並びに住民総参加を基本にした推進に努めます。
- ⑧ 各地区の社会体育施設（ナイター施設）の老朽化が著しいため安全性を確保し、施設の効率化に努めます。

九重町まちづくり寄附金条例が出来ました。

「九重町まちづくり寄附金条例」が3月23日に施行されました。この条例は九重町のまちづくりにご支援いただける方からの寄附金を財源として事業を実施し、個性豊かで活力あるまちづくりにつなげることを目的としたものです。この条例による寄附を行う場合、3つの事業の中から使い道を希望するものを選択していただくことができます。

寄附金の流れ

ふるさと創生事業基金

＊いただいた寄附金は「ふるさと創生事業基金」に積み立てられます。



Memo

自治体が掲げた事業に対し寄附者が自ら選択して寄附することのできる条例は、2004年6月に長野県泰阜（やずおか）村が全国で初めて施行しました。その動きは広がり、九州では熊本県小国町が昨年4月から「小国町ネットワーク事業基金条例」を、福岡県八女市でも同様の条例を施行しています。町では、ホームページやパンフレットなどを通じて町外の方にもお知らせするとともに、町内の旅館等の観光施設にもパンフレットを常置し、広く呼びかける予定です。

①九重の自然保護・保全事業

九重の豊かな自然を守ることを目的に、野焼きの普及や子ども達への環境教育の推進、自然破壊につながるゴミ（特に不法投棄によるもの）の処理などに取り組んでいきます。

②高齢者の福祉向上事業

お年寄りの安全の確保を目的に、65歳以上のひとり暮らしのお年寄りを対象とした、緊急通報装置の設置を推進していきます。

③コミュニティ推進事業

地域力の醸成を目的に、町に伝わる伝統芸能や、地域の祭りなどその保全に必要な経費（衣装や用具の購入・修復等）に充てていきます。

事業を指定せずに寄附することもできます。
(その場合は、町が事業を決定させていただきます)

問い合わせ 企画調整課自律企画グループ ☎ 76-3807

ご存知ですか？ 総合型地域スポーツ クラブ！



「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツを」楽しめる地域のコミュニティが総合型地域スポーツクラブです。

地域住民の皆さんのアイデアによって、自主的に運営されるため、クラブのメンバー構成や実施される種目は、クラブによってさまざまです。地域の特徴を活かし、地域のみなさんのニーズに合ったクラブを地域住民の手で創るものです。

参加した住民の一人ひとりがクラブにおいては、運動・スポーツをする側だけでなく、指導する側、運営する側と、いろいろな関わり方を持ち、性別、世代を超えて、クラブを中心に人と人とが豊かにつながり合う、地域の新しいコミュニティです。

九重町では、平成20年4月の設立に向け、計画を進めています。町民の皆さんの様々なご意見をお寄せください。また、要望があれば出前講座での地元説明会も行います。

問い合わせ 生涯学習課 ☎ 76-3823



玖珠九重行政事務組合 の主な業務

「日田玖珠広域行政事務組合」が3月末に解散され、新たに「玖珠九重行政事務組合」が発足されました。4月2日に行われた発足式では「玖珠郡民が互いに手を取り合いながら、がんばっていきましょう」と副管理者である坂本町長のあいさつがありました。

同組合の主な業務は以下の通りです。

- ①玖珠清掃センターの運営及び管理に関する事務
- ②玖珠環境衛生センターの運営及び管理に関する業務
- ③玖珠葬斎場の運営及び管理に関する業務
- ④玖珠耳鼻咽喉科医院の運営及び管理に関する業務
- ⑤玖珠郡の介護保険法に基づく審査判定業務

＊ごみの収集や各施設の利用法、料金等はこれまでどおりです。

事務所 玖珠町大字大隈226番地の5
(旧日田玖珠広域行政事務組合玖珠支所)
☎ 72-1947 Fax 72-1941

九重発

世界へ



岐部笙芳さんの作品が
アメリカの美術館へ

町内の竹工芸家・岐部笙芳（せいほう）さんが2月14日から26日まで、アメリカ・サンフランシスコにあるサンフランシスコ・アジア美術館（The Asian Art Museum of San Francisco）で開かれた「コッチェン・バンブー賞特別展」に参加。竹工芸作りのワークショップ（教室）を開きました。

この美術館は水墨画や彫刻などアジアの貴重な作品を1万4000点以上収蔵。この種の美術館としては西洋諸国で最大規模を誇り、毎年40万人以上が訪れています。今回のプログラムは「アジア・アライブ（今のアジア）」の一環として企画されたもの（竹の名匠コッチェン・コレクシオン）で、岐部さんをはじめとした10人の竹工芸家が集結。岐部さんは花籠（かこ）2点を展覧したほか、現地の人を前に見事な手さばきを披露しました。「教室生の真剣なまなざしがとても印象的でした。作家冥利に尽き

ます」と岐部さん。技を見せるだけでなく、簡単なキットを利用して教室生に参加してもらうなど、より深く学べるように工夫しました。最後は即興でかごを作って見せるサービスも。生まれて初めてサインを頼まれて、あわてて練習をする珍騒動（？）もありました。また、現地の新聞で知ったという大分県出身の移住者に、市内を案内してもらおうなど良い思い出もたくさんできました。

「とても楽しかったです。時間ができればまた教えたいと思っています」。

さっそく、美術館からまた来てほしいとの声も。それも1カ月くらい。

「末永く付き合っていきたいと思っていますが、さすがに、1カ月というとちょっと・・・」と笑顔の岐部さん。現在は2つの大きな工芸展に向けて準備中なので当分はおあずけといったところ。

「招待されたのはとても光栄です。私たちの仕事は、なかなか夢をもてるというものではないのですが、後継者たちに少しは希望を与えられたんじゃないかなと思います」。

多忙な中にも、後継者育成のために何かできないか考える日々。住民の中からも岐部さんになんだ催しを開いてはといった声も出ているようです。

岐部さんは日本工芸会で活発な活動をする傍ら、7年ほど前から海外のギャラリーへも作品を出しており、今回の企画はアメリカのギャラリーを通じて実現した。北米やヨーロッパなどでは竹工芸が静かなブームだそう。岐部さんの作品（花籠）も同美術館に常設展示されることになりました。



▲ワークショップで現地の人たちを前に実演

4月のハート降る♥このえ

初めての賞金



匿名希望

今年高校を卒業したわが子が、大学へ行く前にアルバイトを始めました。これまでアルバイトの経験などまったくありませんでした。4月より親元を離れて自立した生活を送っていかねばならないわけだから、いい経験だと思いそのアルバイトに出かけていく後ろ姿に新鮮さすら覚えました。アルバイトが終わり、仕事の内容を夕食の時に話すわが子を見ながら、家族で話が弾みました。親は力ながら世界が少し広がっているわが子を見ながら、独り立ちを前にしてちょっぴりたくましさを感じたところでした。

息子のアルバイトは約1カ月で終了しました。最終日にはこれまでの労働の代償としての賞金と明細を持って帰りました。そして、私たち夫婦と祖父母にその一部を「少ないけど受け取って。ほんの気持ちやけん」と言いながら渡してくれました。祖父母は「この金は使えん」と涙ぐんでしまいました。これまで、お年玉やこづかいをもらっばかりのわが子が、人へ施すことを知った日でした。こんな光景はどこの家でもあるのでしょうか。ですが我が家では初めての経験で、そんな機会を与えてくれた事業主の方に感謝の念で一杯になりました。

4月から県外で学生生活を送るわが子がいなくなると、きつとさみしさがかみ上げてくるのでしようが、旅立ちを前に残してくれた家族へのめくもりが絆を深めてくれた気がします。

伝えたい「ちょっといい話」「心あたたまる話」をぜひお寄せください。町内各所に投稿用のボックスを設置していますので、そこに投稿するか、「ハート降るこのえ」メンバーへご連絡ください。

連絡先 佐藤明郎（☎76-2526）

郵便の場合は次のところへ。

〒879-14895

九重町役場企画調整課 広報グループ

「男の料理」にサプライズ



「すくく、おいしいー! いったいどこで覚えてきたん?」
 そんな女性たちの賑やかな声が終始にぎわっていました。
 陣の内上地区の「山の神祭り」が3月4日に同地区公民館
 でありました。
 毎月16日は「山の神様」が山で木を数えており、この日に
 山に行くとかガをするので、仕事は休み。そんな習わしが町
 内にはあります。ちよっと日には違いますが、みんなで食
 事をしながら山の神様に感謝することお祭り。本当の神様は
 同地区の女性たちのお祭りで、この日は、男性
 たちの作った料理を上げ膳・据え膳で楽しむのが決まりにな
 っているからです。
 今年も事前に男性14人が実行委員会を作り、分担する料理
 などをまず綿密に打ち合わせ。自主トレーニングなどを積ん
 だ上で、当日は約3時間の奮闘の末、見事8品が出来上がり
 ました。春の野草のてんぷらや牛乳のスープ、卵餅など。彩
 りもどことなくチャーミングで、女性たちは、男性たちが日
 頃あまり見せない一面を見たのか、思わず歓声をあげていま
 した。
 実行委員長の高倉英俊さんは、「国会では男女共同参画が
 クローズアップされています。今日はゆっくりりと味わって
 ださい」と開会のあいさつ。
 実行委員の一人は「回数を重ねることに、だいぶん料理の
 助がつかめてきたね。日頃?全然せんね〜(笑)」。
 でも、「やればできる」というのはこのお祭りでも実証済み
 です。ぜひ、家庭でもサプライズを。

News



Scrap book

各分野から寄せられた
 ニュースを集めました。

九重の米は西日本一

SCRAP



平成18年産米の食味ランキングが発
 表され、「日田玖珠産のひとめぼれ」
 が最高ランクである特Aに選ばれまし
 た(16年以來2年ぶり)。
 食味ランキングは、(財)日本穀物
 検定協会が、米の「外観」「香り」「味」
 「粘り」「硬さ」「総合評価」の6項目
 について評価するもので、B(8ダツ
 シュ)から特Aまでの5段階に分けら
 れます。今回は「魚沼産コシヒカリ」
 をはじめとした10県17地区の米が特A
 に選ばれ、そのほとんどが東北産。西
 日本では唯一、「日田玖珠産のひとめ
 ぼれ」が特Aとなりました。私たちは
 西日本一おいしい米を食べているので
 すね。すばらしい!



自律のまちづくりに向けて、
 「自助」・「共助」に該当する
 取り組みには、このマークを
 つけています。



私の集大成

SCRAP



「80年間、町にお世話に
 だったので、これを使って
 ください」
 麻生太一さん(下見)が
 2月28日に町を訪れ、10
 00万円を寄付しました。
 麻生さんにとってこのお金
 は「自分の集大成」。
 寄付金を受け取った坂本
 町長は、「大変ありがたい。
 麻生さんの希望どおり教育
 の充実に役立てるとともに、
 福祉充実などにも充てたい」と
 喜びの表情で話していま
 した。

思い出いっぱいひな祭り

3月3日はひな祭り。町内のいろいろなところで、お祝いがありました。町田にある「グループホームみなみの風」では一味違う楽しみ方をしました。

みなみの風には、認知症などの高齢者17人が入所。昔からある季節ごとの催しは入所者にとって楽しみだけでなく、認知症の進行を和らげる効果があるそう。みなみの風でもさまざまな催しをしており、今回のひな祭りもその一つ。今年はい自分たちで雛人形を作り、より楽しいものになりました。円錐形にしたダンボールの芯を作り、顔をつけ千代紙で飾りつけ。「お互いのだんなさんや、奥さんの顔を思い出して描いてくださいわね!」。そんな施設職員の呼びかけに、一層賑やかな作業風景になりました。昔を思い出してか、入所者の顔もうれしそう。「昔はきれいな着物を着られんかったから、代わりに着せてあげよう」といった声も出ていたそうです。ひな壇には、入所者のアイデアによるベットボトルを利用したほんほりも飾られていました。

みなみの風では、催しなどの際には、準備段階から積極的に入所者にかかわりを持ってもらうようにしており、このことで、参加意識がより高まり、精神の活性化などあらゆる面で効果が出てくるといいます。今後、季節行事のほか、秋には大運動会も予定しています。



みんなの力で花いっぱい



大手コンビニエンスストアのローソン（現在8366店舗）が店頭で集めている「緑の募金」。これを利用した庭が南山田小学校で完成し、3月9日に現地記念式典がありました。

「緑の募金」は1992年から展開されており、昨年2月現在、ローソン本部寄付と合わせて残高は20.4億円。国内外でこれまで1000万本（4100ヘクタール）の植樹をするなどの森林整備活動に充てられています。昨年から従来の活動に加え、学校での緑化活動も開始。今年8月までに全国50校で実施する予定です。

南山田小学校では荒地化していた中庭273㎡をこの募金で整備。事業費は100万円と同募金と町が半分ずつ負担し、ヤマモミジやヤマボウシなど8本を植栽したほか、花壇を設置するなど子どもたちが気軽に自然とふれあえるようにしました。

完成式で児童代表の一人2年生の右田春萌ちゃんは、「前の庭はさびしかったけど、今は賑やかで楽しいです。また一つ楽しみが増えました」とあいさつをしました。学校関係者は、「自然と触れ合うことで、人間への優しい気持ちを育てる効果が期待できます。大事に管理していきたいです」と喜びの表情で話していました。

緑化木で咲かせよう、地域づくりの花



春に桜、初夏にアジサイが咲き、秋にはキンモクセイの香りが漂う。そんな場所がさらに増えそうです。「緑の募金事業」による緑化木の交付式が3月9日に九重町役場でありました。国民全体で緑化を積極的に進めることをねらいに1995年に制定された「緑の募金法」に基づき、集められた募金をもとに毎年、団体などに緑化木が配布されるもので、今回で9回目。今年は行政区や観光協会、地域づくりグループ合わせて6団体が、桜やツツジなど585本を受け取りました。

交付式で九重町緑化推進委員長の坂本町長は「木は心を癒してくれます。よく手入れをして大事に育ててください」とあいさつ。交付を受けた各団体は、公共施設などに植樹。すでに交付を受けた団体の中には、緑化木にちなんだイベントを開催しているところもあり、各地ではこれを機会に「地域づくりの花」が咲いているところも多いようです。

この事業のシンボルである「緑の羽根」は1950年に始まった「緑の羽根募金活動」がルーツ。九重町では毎年春に各家庭に募金を呼びかけるほか、募金箱「どんぐりくん」を次のところに設置。年間を通して募金を呼びかけています。

「どんぐりくん」があるところ
ふるさと館、JA飯田高原ドライブイン、飯田高原観光案内所、玖珠郡森林組合、役場ふれあい生活課・会計窓口

災害復旧への架け橋が完成



▲集中豪雨で大きな被害を受けた旧豊後渡橋（2005年7月12日撮影）



▲（新）豊後渡橋

開通式で坂本町長は「地域の発展につなげてください」とあいさつ。また、自身も集中豪雨で大きな被害を受けた狭間地区の区長赤峰仁美さんは「大変迅速な対応をしていただき感謝。感無量です」と話していました。橋が新しく架け替えられたことで旧豊後渡橋は取り壊しへ。1953（昭和28）年の大水害をきっかけに作られ、半世紀にわたり住民に親しまれてきただけに、「一抹の寂しさを感じる」との声も会場では聞かれました。

新しい豊後渡橋は鉄筋コンクリート製で長さが45・7メートル、幅員が5メートルあり、これまでのものに比べ、車の往来が容易に。また、流出した倒木が引っかかり旧橋の変形の原因となった橋脚間や橋げたの高さを十分取る設計をしたほか、上流域には砂防ダムの工事も進んでおり、より安心・安全の地域づくりが進んでいます。

2005年7月の集中豪雨で大きな被害を受けた豊後渡（「ぶんごわたし」）橋。上流約110メートルで進んでいた架け替え工事が終了し、3月14日に現地で工事関係者など約40人が集まり開通式がありました。集中豪雨の際、同橋の上流のいたるところで山腹が崩壊。土砂とともに大量の倒木が流れ出し、橋脚に積みあがり、水圧とあいまって変形。約1ヵ月間、通行規制がしかれ、応急措置による規制解除後も2トンを超えるトラックが通れない状態が続いていました。このため、昨年3月より別位置で架け替え工事を進めていたもので、総工費は約1億7000万円。

カッコよくて、やさしい6年生になりたい



子ども会リーダーズスクールが3月17・18日、県立九重青少年の家（飯田）でありました。

この春から6年生になる児童を対象とし、子ども会や学校生活を楽しく有意義なものにしようとして学習するもので、班別学習やプラネタリウム観賞をしました。2日目の一番の楽しみは「草すべり」とは言ってもこの日は季節はずれの雪が降ったあとで、予定外の「雪すべり」になりました。20メートルほどの傾斜面をそりて滑るわけですが、意外やスリル満点。子どもたちは大はしゃぎで何度も滑っていました。

学校を超えて同学年の児童が集まることはほとんどないため、この取り組みは貴重な機会といえます。今年は飯田、淮園、南山田の各小学校から合わせて16人参加と、少々さみしい数でしたが、3班に分かれて活動。学校を超えての友だち作りにも励みました。

盛りだくさんの研修に、参加者の一人に6年生になってからの抱負を聞いてみました。「カッコよくてやさしい6年生になりたい。どうです、なっていますか？」

新風が吹き始めた



NOTE 一般質問とは
議室に関係なく、一般的な町の行政事務について町長や課長等に質問すること。一般質問を行えるのは、定例会のみ。
一問一答方式とは
一度に複数の項目について質問・答弁をする（一括質問・一括答弁）方式に対し、一つひとつの質問にその都度執行部が答弁する方式。論点が明確となり、より中身の濃い質疑・答弁ができるほか、傍聴者にとっても判りやすいものになる。

2月の町議会議員選挙後初の定例会（定期的な議会、年4回）があり、3月16日に一般質問（↓NOTE）が行われました。議員数がこれまでの16人から13人に減った議会。内容についても、より引き締まったものになったと、住民からは好感を持って受け止められているようです。今回質問に立ったのは新人2人を含む6人。自律推進計画や学校再編、九重「夢」大吊橋など質問内容も多岐にわたっており、より論点を鮮明にするため昨年度より本格導入した「一問一答方式（↓NOTE）」による質疑も随所に見られました。傍聴者の一人は、「質問が非常にしっかりしている。議会の雰囲気も熱を帯びてきている。確実に新風が吹き始めた印象」と話していました。次回定例会は6月に開催。詳細についての問い合わせは議会事務局（☎7613814）まで。

初代副町長に永尾宗忠さん



九重町では4月1日付で副町長を置くことになり、初代副町長に永尾宗忠さんが就任しました。副町長は、地方自治法の改正により新たに設置されたもので、これまでの「助役」に該当。町では05年以降助役不在の状態が続いていたものの、さらに行政改革を行い「自律に向けたまちづくり」をすすめる必要や九重「夢」大吊橋の周辺整備など課題が山積しているため、副町長の選任することになりました。

副町長就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

町長は助役・収入役は自分の間置かないとしてお一人で頑張りを抜いて参りましたが、このたびの地方自治法の改正で助役制から副町長制に改正されたことに伴い、副町長を置くとして、4月1日付で副町長を拝命いたしました。

もとより浅学で非才な私でございます。職責の重大さに躊躇いたしました。「まちを愛しすみよい町にしたい」という情熱は人一倍あると自負しています。この熱意を持って、町長の補佐役として職務に専念し、町民の皆さんの負託に応えるべく懸命に努力しようという決意いたしました。地方財政を取り巻く情勢は三位一体改革に伴う地方交付税の減額等依然として厳しく、特に小規模町としては予算が許されません。観光浮揚策として、滞在型をめざした九重「夢」大吊橋は予想を上回るお客さんのいり込みで喜ばしいことですが、その反面、トイレや駐車場等の施設不足や交

通緩和対策など課題も多く早期の対応が求められており、多額の経費を必要としています。

基幹産業である農林業も低迷が長期化しており、なかでも、頼みの畜産は輸入飼料の高騰など新たな問題も生じており、厳しさが増しています。また、町としても今後における最大の課題であるブロードバンド環境整備事業が控えています。こうした状況を踏まえると自律推進計画の「自助」「共助」「公助」の補完性の原則による着実な実行と行財政運営にあつては「最小で最大の効果を挙げる」という予算執行の原則、および「入りを量りて出づるを制す」の量入制出の原則に立つた運営が必須となり、その上で3万人の人々が集い、ふれあう魅力あるまちづくりの達成をめざすこととなります。

安心で安全なまちづくりは九重町の基本です。魅力あるまちづくりは町民の皆さんの理解なくして出来ません。新しい夢のあるまちづくりへの町民の皆さんのご協力を心からお願いし就任の挨拶いたします。

生涯学習は続く



2006年度の寿大学卒業式と終業式が3月29日に九重文化センターでありました。同大学は「高齢者の生きがいと自負心」を生み出すために1971年に設立。1ヵ月に1回のペースで開講されており、全員で受ける一般教養過程のほか、郷土史や手芸、水墨画といった専門課程も準備。3年で卒業になるものの、その後も研究生として残る人も多く、昨年度は在校生の半数以上が研究生でした。第34期となる今回の卒業生は17人で、これまで卒業証書を受け、寿学士となったのは延べ506人。

式では坂本町長が「これからも自らを高めていく生涯学習を応援します。より主体的な学習を」と激励。卒業生を代表して香下嗣代さんが「爽り多き大学生活を送れたことに感謝します。これからも研究生としてさらに学習を深めたいと考えています」とあいさつしました。また、この日は無欠席だった学生への賞状授与もあり、14年間連続無欠席の佐藤スミエさんを筆頭に49人が賞状を受けました。

平成19年4月1日から児童手当制度が拡充されました

●拡充の内容

若い子育て世帯等の経済的負担の軽減を図る観点から、3歳未満の乳幼児の養育者に対する児童手当の額を、第1子及び第2子について倍増し、出生順位にかかわらず一律月1万円となりました。

なお、3歳以上の児童の児童手当の額、支給対象年齢及び所得制限限度額については、現行どおりです。

〈0歳以上3歳未満の児童の養育者に対する児童手当〉

	(現行)	(改正)
第1子、第2子	月額5千円	→ 月額1万円(倍増)
第3子以降	月額1万円	→ 月額1万円(現行どおり)

〈3歳以上(現行どおり)〉

第1子、第2子	月額5千円
第3子以降	月額1万円

施行日 平成19年4月1日

(拡充後の最初の支給月 平成19年6月)

※今回の改正では、受給者から特段の手続きを行う必要はありません。

なお、平成19年4月から3歳未満の児童手当等の額は一律月額1万円となりますが、3歳到達後の翌月からは、第1子及び第2子の手当額は5千円となります。

詳しくは、役場ふれあい生活課福祉グループ(☎76-3802 *公務員の方は勤務先)にお問い合わせください。



九重町温泉館とふれあいプラザについてお知らせ



4月1日より年中無休となりました。

営業時間も午前10時から午後11時までになりました(受付は午後10時まで)。

問い合わせ 九重町温泉館(☎76-3820)

まだ注意が必要

くじゅう山系(硫黄山)火山防災協議会

1995年10月、257年ぶりに噴火(水蒸気爆発)した硫黄山(星生山の左山腹)を中心とするくじゅう山系。静穏な状態が続いていますが、まだ注意が必要です。

くじゅう山系(硫黄山)火山防災協議会(会長は坂本町長)が2月28日に九重町役場でありました。くじゅう山系の噴火活動について、九重・竹田・由布の3市町をはじめ、警察・消防関係者などが情報交換や防災活動の協議を行うもので毎年開催。今年は23人が参加しました。

気象庁(火山噴火予知連絡会)では、活動の状態などをもとに決めていた「火山活動度レベル」を見直し。防災面を強く配慮したものとし、くじゅう山系についてはレベル1で「火山活動は静穏なものの、火山によっては火口内等注意」。このため、一部ルートを除いての噴気孔から半径500メートル以内の入山規制が続いています。噴火の中心となった星生山の収縮活動(山全体が縮む現象)も続いており、専門家によると「これほど長く続くのはきわめてまれな現象」と依然油断できない状態と見てよさそうです。

会議では、これら現状について報告のほか、看板設置など立ち入り禁止場所での安全対策などについて協議されました。別府湾の海底から大分県西部にかけては「別府一万年山活断層」(→NOTE)があり、百近い短い活断層が密集。専門家



は「常に地震が起きる可能性があることを認識しておかなければならない」と指摘しています。九重町は「野稻岳一万年山断層帯」に属し、「滝上南断層」「猪牟田断層」「崩平山断層群」「高柳断層」「川底断層」「菅原断層」などが確認されています。この断層帯の平均的活動周期は4,000年とされ、その際にはマグニチュード7.3程度の地震が発生すると推定されており、今後、30年以内の地震発生率は「ほぼ0~3%」。その最大値をとると、国内の活断層の中ではやや高いグループに属するとされています。

NOTE

活断層とはプレート内部の強い部分で、過去・将来も含め繰り返し地震が発生しているもの。日本では、確認されているだけでも約2000か所の活断層がある。



健康のカギ

参加者を
募集します！

保健

～栄養教室を始めます～

健康は自分で作りだすものです
 あなたがその気持ちになりさえすれば
 健康はそこで得られるのです
 食事・運動・休養など心がけ次第でより健康になれるの
 です
 健康は幸せのみなもと
 食べることは健康のもと
 それは、正しい食事によって得られます
 ヘルシーでおいしく、楽しい食事
 それはあなたの手のうちにあります
 自分自身や家族、そして地域の
 健康づくりのための学習をし、
 健康のカギを手に入れましょう！



募集

- 毎月1回（年間11回）の教室を開催します。
- いずれも午前9時30分開始、午後2時終了予定です。
- 教室の内容は、講義と実習とグループ討議などです。
- 定員は25人です。定員になった時点で募集を締め切らせていただきます。
- 終了者は、原則として九重町食生活改善推進協議会に加入し、日常的に健康づくり活動を進めていただきます。
- 参加を希望される方は、4月27日（金）までに保健センター（☎ 76-3838）にお申し込みください。
- 内容や日程の詳細等、問い合わせ先は保健センター（☎ 76-3838）です。

狂犬病予防注射を受けましょう

犬の登録について

新しく犬（生後90日を越えた犬）を飼ったときは市町村で登録してください。
 一度登録すると、それ以後登録の必要はありません。
 ＊5月の集合注射（健康カレンダー記載）の会場でも登録の受け付けをします。

狂犬病の予防注射について

5月から町内各地で行います。《予防注射通知のハガキをお忘れなく》
 狂犬病の発生を予防するため、予防注射は毎年1回必ずしなければなりません。

登録内容の変更について

犬の死亡や登録事項（所在地・飼い主等）の変更があったときは、市町村窓口で手続きを行ってください。

犬の放し飼いは禁止されています。
 犬の散歩は糞の始末もマナーです。

楽しく犬と暮らすために、
 愛情と責任を持って飼いましょう。



第15回 高齢者のよい歯の コンクール参加者募集

歯の健康につとめてこられた80歳以上の方を対象に「よい歯のコンクール」を行います。
 80歳以上で自分の歯が20本以上ある方はふるって応募ください。また、このような方をご存知の方の推薦もお待ちしています。

●対象者

今年3月31日現在で80歳以上の人（昭和2年3月31日以前に生まれた人）で、自分の歯を20本以上保持している方

●応募期間

5月25日（金）まで

●申し込み先

日田玖珠県民保健福祉センター玖珠保健支所地域保健課（☎ 72-1150）

「お達者さんを見習って、かくしゃくと長生きしよう！」
 そんな声が聞こえてくる元気な大会でした。生きがいと健康
 づくり大作戦（高齢者の生きがいと健康づくり推進大会）が
 3月13日に九重文化センターであり、約300人が参加しまし
 ました。高齢者が生涯を通じて、健康で生きがいを持ちながら心
 豊かに生活できるための支援策などを検討するため設置され
 た「高齢者の生きがいと健康づくり推進会議」が主催したも
 ので、今年の大会テーマは「地域の活動にみんなで参加しよ
 う」。

まずは九重町老人クラブ連合会（東飯田地区）有志と東飯
 田子ども園園児によるオペレッタ（音楽劇）「浦島太郎」で
 スタート。今回は子どもたちが先生になったとかで、あまり
 接点のない子どもたちとの交流に最初は戸惑う高齢者もいた
 ようでしたが、楽しくかわいらしい劇に仕上がっていました。
 次の「お達者さんに学ぶ」。元気な高齢者に健康の秘訣など
 を聞くもので、この大会の目玉の一つとなっています。今年
 は江藤鹿永さん（93歳・川西）と永楽トミさん（92歳・奥野）
 が登場。江藤さんは80代から始めた刺しゅう作品を紹介。
 この日着ていたセーターも自分で編んだものでした。地元の
 公民館である刺しゅう教室に参加するのが楽しみだそうで、
 「娘や孫の世代の人と一緒にいると、若返る気がします。こ
 れからも一所懸命いろいろがんばりたい」と話していました。
 一方の永楽トミさんは、健康の秘訣というチューブを使った
 体操を披露。ふれあいプラザ（温泉館横）である「百まで元
 気教室」に参加するのが楽しみで、茶道もたしなむとか。最
 近ではキーボードを弾くのも楽しんでおり、「森高校歌」を
 はじめレパートリーもたくさんあるそうです。いつまでも元
 気でありたいと話していました。二人の元気な姿に会場から
 は「すごい！」といった声がたくさん。大会講師・助言者と
 して参加した高槻絹子さん（エイジングライフ研究所副所長）
 も二人には驚いた様子で、「元気に長生きするには自分の力
 を100パーセント出し、足りないところだけ助力をもらうこ
 と。かくしゃくと生きている人は自分の力を出し切っていま
 す。九重町はこの二人を始め、かくしゃくとした人が多い」
 と話していました。



いつまでも、
 かくしゃくと



▲チューブを使った体操を披露（永楽トミさん）

この日着ていたセーターは自分で編みました（江藤鹿永さん）



心の畑に種をまこう



テレビやゲーム、携帯電話など、電子メディアに囲まれた
 現代。絵本のよみかたに注目が集まっています。「みて
 きいて感じる 子育て～BOOKスタート絵本で子育て・親育
 ち講演会」が3月10日に九重町保健福祉センターでありま
 した。

九重町では、今年度から「絵本を通じて赤ちゃんと保護者
 が楽しい時間を持つこと」を応援する「ブックスタート」事
 業が始まりました。母子保健推進員が赤ちゃんの生まれた家
 庭を訪問し、絵本をプレゼントするもので、これまで64人（3

月22日現在）の赤ちゃんに絵本をプレゼント。4ヵ月健診
 などの機会を通じて絵本の紹介などをし、絵本で子育てを
 応援中です。今回の講演会はその一環として行われたもので、
 講師は日本図書館協会評議員の渡辺順子さん。渡辺さんは
 1973年に自宅の図書を開放した「すずらん文庫」を開始。
 日本のブックスタートの草分け的存在と言える人です。渡辺
 さんはテレビなどの電子メディアの氾濫が子どもに及ぼす悪
 影響を危惧。「この50年で失った日本の子育てをやり直さな
 ければならない。そこにあるのがブックスタート」と力説。
 特に脳の9割までができる乳幼児期を逃さず、しっかりとよ
 みかたをしてほしいと話しました。また、その際にも多く
 の図書館にあるような主食（＝定番）となる絵本を提供する
 ことが大事とアドバイス。九重町は、児童館と保健センター、
 図書館が隣接しており、非常に恵まれた環境にあり「第二の
 家庭と思ってぜひ活用してほしい」と話していました。

「よみかたをするということは、子どもの心の畑に種を
 まくことです。子ども自身、長い人生の折々に、一つずつ芽
 を出し、花を咲かせ、やがて人生の実をつけるのです」（渡
 辺さん）

職場でのセクシャルハラスメントの防止対策をしていますか？

本年4月1日から男女雇用均等法が改正され、男性に対するセクシャルハラスメントも含めた防止対策を講じることが、事業主の義務になります。

講じなければならない対策は次の9項目です。

- ① セクハラの内容、セクハラがあってはならないという方針を示し、労働者に周知すること。
- ② セクハラの行為者については、厳正に対処するという方針と対処の内容を就業規則等の文書に規定し周知すること。
- ③ 相談窓口をあらかじめ定めること。
- ④ 相談担当者が、適切に対応できるようにすること。また、広く相談に対応すること。
- ⑤ 事実関係を迅速かつ正確に確認すること。
- ⑥ 事実確認が出来た場合は、行為者・被害者に対する措置を適正に行うこと。
- ⑦ 再発防止に向けた措置を行うこと。
- ⑧ プライバシーを保護するための措置を講じ、周知すること。
- ⑨ 相談したこと等を理由として不利益な取り扱いを行ってはならないことを定め、周知すること。

講じなければならない具体的な内容を示した指針があります。

→<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/koyou/danjokintou/kigyuu01.html>

- 性的な発言とは～性的な冗談やからかい、食事やデートへの執拗な誘い、意図的に性的なうわさを流す、個人的な体験談を話したり聞いたりすること
- 性的な行動とは～性的な関係の強要、身体への不必要な接触、強制わいせつ行為、強姦、ヌードポスター・わいせつ図画の配布・スクリーンセーバーの使用、掲示など



お問い合わせ・ご相談は・・・大分労働局雇用均等室

〒870-0037 大分市東春日町17-20 大分県ソフトパーク内大分第2ソフィアプラザビル6階

☎ 097-532-4025 Fax 097-537-1240



飯田高原診療所からのお知らせ

飯田高原診療所の若山医師は3月31日で退任されました。

4月からの当面の診療体制は、次のようになります。休診しなければならない日もありますが、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

- * 診療日は、月曜日、水曜日、金曜日、土曜日です。
- * 火曜日と木曜日は休診です。
- * 診療時間は、午前9時から午後5時までです。
- * 土曜日は午前9時から正午（12時）です。
- * 毎月第2木曜日は、皮膚科診療（時間は午後1時半から4時半まで）を行います。
- * 診療月は4月から12月まで（1、2月は休診）と3月です。

問い合わせ：飯田高原診療所（☎ 79-2138）

消防水利付近は駐車禁止です！

119番



みなさんは、消火栓や防火水槽をご存知ですか。これらは、火災発生時に水を消防隊に供給するものです。これらの施設の多くは、標識を設けたり、路上やフタにマーキングをしたりなどして位置を示しています。またその他にもプール、池、河川等も消火活動に使用しています。

これらの消防水利等の周辺は、道路交通法で駐車が禁止されています。消火栓や防火水槽付近への違法な駐車車両は、一刻を争う消火活動を妨げることになります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

◎駐車を禁止している場所（消防関係）

- ・消火栓から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の吸水口もしくは吸管投入孔から5メートル以内の部分
- ・防火水槽の側端又はこれらの道路に接する出入口から5メートル以内の部分
- ・指定消防水利（プール、池、河川等）の標識から5メートル以内の部分

110 交通安全

平成19年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計
	死者	負傷者		
東飯田	0	2	10	11
野上	0	1	12	13
飯田	0	8	55	61
南山田	0	5	17	21
計	0	16	94	106

(2007年3月末現在)

このえ 農業委員会 だより 20号

農業委員改選に伴う挨拶

九重町農業委員会 会長 高倉勲八

平素より農業委員会業務につきましてご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。この度の農業委員改選に伴い一言ごあいさつ申し上げます。

本年一月農業委員の改選により公選12人・議会推薦4人・農協、共済、土地改良区の各役員代表者4人の計20人新体制でスタートすることになりました。改選につきましては町並びに農家の皆様のご協力により選出されましたことに厚くお礼申し上げます。農業委員全員が地域に密着した活動が出来るよう引き続き地区担当委員を定めまして、農地に関する件については地区担当委員又は農業委員会事務局にご相談ください。

「かけがえない農地と担い手を守り、力強い農業を作る。架け橋」農家のよき相談相手に「行動する農業委員会」を目標に、一丸となって努力する所存でございますので、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■農業委員の担当地区一覧

委員氏名	電話番号	担当行政区
吉武喜代子	76-3288	前辻1～2・川下北・川下南
日野 賢二	76-3356	川上1～2・後辻・竜門・田尻・野倉・中須
麻生 敏行	76-2512	南恵良・富来口・北恵良1～3・見良津・書曲1～3・恵良団地
小野 敏彦	76-2191	上且・下且1～6・釣団地・松岡住宅・下右田・奥野1・物見塚・見留
高倉 勲八	77-6369	北区・南区・小久保・寺田・奥双石・中業・野上住宅
高橋テエコ	77-6063	下右田・重原・中央1～5・青山通り・下尾本・尾本・青山住宅
岩尾 淨見	77-7228	小垣・櫻原・拓郷・平家山・小平谷・甘川水
宇佐 光徳	77-7515	茅原小野・後野上・西
佐々木清和	77-6129	猪牟田・桐木・鹿伏
佐藤 仁志	77-6454	田代・野矢・滝上・寺床
時松 芳泰	79-2522	中村上・中村中1～2・中村下1～2・荻狩上・荻狩下・下畑・釜の口・北方上・北方下
馬場 隆之	79-2933	年の神・無田下・無田中・無田中1・無田上・九重山
赤峰 智子	79-2818	筋湯・日向・日向・湯坪下・狭間・奥郷
加藤太郎	79-2438	須久保・花牟礼・吉部1～3・旭・安川
日野 英敏	78-8583	引治1～2・富迫上・富迫下・横尾・中村・黒猪鹿・木納水
高倉 英俊	78-8436	川西1～3・川東上・川東下・陣の内上・陣の内下・後河内
藤澤 美保	73-1005	川道団地・金山・井手・田中・岩の上・栗野本村
木村 昭憲	78-8987	麻生釣・菅原本村・相狭間・口の園
竹尾 庄八	78-9833	桐木1～4・中板・潜石
小田 誌志	78-8530	宝泉寺・生電・栗原・串野上・串野下・梶屋

農業委員会事務局 ☎ 76-3805 (小野・矢野・麻生・梅木・帆足)

シーズン 農業大好き

佐藤 益美 さん (生竜)



「今日も1日頑張ります」と専業農家4年目の朝礼、といっても夫（龍雄さん）と二人の仕事開始です。4棟のハウスで夏秋のミニトマトと、葉物野菜を作っています。少しずつづらして種いた種が今年の異常な気候で生育が一掃になり収穫に追われています。ミニトマトはJAに出荷、冬野菜は初めAコープに出荷し残りが多くがっかりする日もありましたが、年を重ねるごとに販路複数になり、また近くの方が買ってくれたりと調整が出来るようになりました。ハウスの周りの雑草に悩まされましたが、シートを敷いて草刈りの手間を省き解決。小さなことでも意見を出しあい、失敗してもその反省をプラスに、マンネリ農業をしないで日々進化するようにと心がけています。「よう二人で仕事するね」と笑われたり、「生き生きしているよ」と励まされたり我がハウス、おおざっぱな性格の私ですが、成人した3人と高校生の1人の子どもに頼りない背中を見せて行きます。「龍（たっ）ちゃんの方の野菜やミニトマトがおいしい」と言われるようなブランドを目標に「安心・安全」の農業を、細く長く続けて行きます。「一日終わりました。頑張ったね。」終礼です。

(今回は益美さんに書いていただきました。ハウスの中は青々とした野菜がいっぱいでした。ハウスの旧道沿いには春はチューリップ、夏から秋にかけてはサルビア・薔薇(ほづきぐさ)がたたくさん植えられ、観光客や地元の人々を楽しませています。ご夫婦と一緒に働けることを楽しんでいる様子が伺えました。近所の子どもたちも佐藤さんの野菜のファンだそうです。)

ご存じですか。農地保有合理化事業

これからの農業振興のために「担い手」と呼ばれる農家に農地を集めることが急務となっております。

一方、耕作されない農地は泣いています。

また、「担い手」の経営コスト削減には、農地の集約等により効果的な農地利用の転換を図る必要があります。

農地保有合理化事業を使うとこんな特典があります。

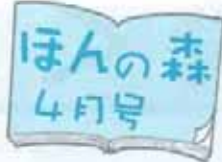
※ 公社に土地を売却及び公社から土地を購入する場合

①譲渡所得税または不動産取得税の大幅な軽減

②登記の代行 等々

この他、農地の貸し借りにしてもこの事業を利用すると大変有利になる場合があります。詳しくは農業委員会事務局にお問い合わせください。

図書館だより



図書館開館時間
平日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休み

★「桜」クイズに挑戦!★

この広報がみなさんのお手許に届くころには桜の花はすっかり散ってしまっているのでしょうか?桜、さくら、サクラ・・・私達日本人の心をとらえて離さない春の花。今号では「桜の花」でクイズをお出ししましょう。

下記の9つの文(桜について書かれた、また桜の情景が描かれた)は、誰の、何という作品から抜き出したものでしょうか?それぞれ下の作品群から選んで下さい。

- 夕刊にはもう桜が咲いたと云ふニュースが出てゐた。尾道の千光寺の桜もい、だらうとふつと思ふ。あの桜の並木の中には、私の恋人が大きい林檎を噛んでゐた。
- 桜の樹の下には屍体が埋まってゐる!これは信じていいことなんだよ。何故って、桜の花があんなにも見事に咲くなんて信じられないことぢやないか。
- 真っ暗な真夜中の黒に、桜の木が並んで桃色の花を浮かび上がらせている。そして、その桃色の花びらと、黒い夜の間を、真っ白な雪がごうごうと吹雪いているのだ。
- 窓の目前に一本の桜あり、これはみごとに満開、ヒヨドリが枝から枝へ、いかにも山中の風景。さすがの私も、悲劇の南朝も正行クンのことも忘れ、<あっ、きれい!吉野の桜やわ、これこそ!>。
- 死を覚悟して見るサクラよりも、生命の息吹を感じて見るサクラのほうが美しい。共に逝く者どうしが酌み交わす酒よりも、生きる喜びを共に分かち合う酒のほうがサクラ

の花にはふさわしい。

- 長兵衛は二階から桜を見ていた。あの雨と水に襲い掛られたのに、びくとも揺らいていない。朝日を浴びた葉は、明るい緑色に輝いていた。
 - 頭上に花がありました。その下にひっそりと無限の虚空がみちていました。ひそひそと花が降ります。それだけの事です。外には何の秘密もないのでした。
 - 桜色を和英辞典で引くと、ピンクになるだろう。確かに紅を帯びた種類もある。しかし、大抵は、はるかに白い。白いから、風に流れる花びらは、晴ならぬ雪に似る。
 - 山の向こうに花の里が開けていた。いたるところで花見の宴のにぎやかな気配が感じられるのに、人の姿も犬や鶏の姿も見えない。
- A 稲垣栄洋著「蝶々はなぜ葉の葉にとまるのか」
B 梶井基次郎著「桜の樹の下には」
C 北村薫著「ひとがた流し」
D 田辺聖子著「ひよこのひとりごと」
E 林芙美子著「放浪記」
F 坂口安吾著「桜の森の満開の下」
G 倉橋由美子著「よもつひらさか往還」
H リリー・フランキー著「東京タワー」
I 山本一力著「いっぱい桜」



新刊・新着図書案内



《児童書》

ギネス世界記録2007年
みんなのなやみ 1, 2
動物と向きあって生きる
視覚ミステリーえほん
物語の役割
はじめての文学よしもとばなな
ポリボン
つくし
ふきのとう
たねがとぶ

重松清
坂東元
ウォルター・ウィック
小川洋子
よしもとばなな
マレーク・ペロニカ
甲斐信枝
甲斐信枝
甲斐信枝
その他

《一般書》

ウェブが創る新しい郷土
クイズ!ヘキサゴン問題集
主役は住民 九重町まちづくり基本条例
農村の幸せ、都会の幸せ
心にナイフをしのばせて

丸田一
徳野貞雄
奥野修司

まいにち、ふるしき

知って得する年金・税金・雇用・健康保険の基礎知識2007
語学を生かして世界で働く
なごみ歳時記
元気がでる「食」の本 アンチエイジングの食事術 1~5
品種いろいろ国産小麦のパンづくりテキスト
ソニア 世界でただ一頭の白ラブ
福岡いま評判のうまい店300軒
九州・沖縄「道の駅」オールガイド
おでかけセレビッチ
ピースマスコット567てん
ぼくらが惚れた時代小説
向井帯刀の発心
ひとり日和(芥川賞受賞作)
隠し剣秋風抄(文庫)
私のスフレ
車いすのパティシエ

山田悦子

しごと応援編
柴崎あづさ 1~5
伊藤幹雄
葛西管子

辛酸なめ子

山本一力 他
佐藤雅美
青山七恵
藤沢周平
林真理子
うえやなぎまさひこ
その他

<お知らせ>

4月の「絵本の読み聞かせ会」は、4月21日(土)14:30~15:00です。
ボランティアグループは、「チームそらまめくん」。みなさん、いらして下さいね!

(クイズの答え)

1-E 2-B 3-H 4-D 5-A
6-I 7-F 8-C 9-G

藤原いくろうPIANOコンサート ~夢への架け橋~

日時: 2007年4月27日(金) 19:00~(開場18:30~)
会場: 九重文化センター
入場料: 2,000円(ペア券3,000円)

今年も、あのピアノの調べが九重の夜に響き渡る!!
九重町民劇場創作ミュージカル「星生山の星太郎」の作曲をきっかけに親交が深まっている藤原いくろうさんのコンサートが今年も実現しました。
問い合わせ 九重文化センター(☎76-3888)



【藤原いくろう プロフィール】

日本大学芸術学部在学中より様々なアーティストへの楽曲の提供をはじめ、アレンジ、キーボードプレイヤーとして音楽活動を開始。中森明菜のサウンドプロデューサーとして評価を得ると共に、活動の場をポップスだけでなく、本来の分野であるクラシックへも広げる。最近では自作曲「deep sea」の韓国ドラマ「冬のソナタ」での使用や、映画「Dear Friends ディア フレンズ」の音楽担当と、ドラマBGMの分野でも高い評価を得ている。

くらしの情報

平成19年度調理師試験準備講習会

講習日程 平成19年5月30日(水)、31日(木)
各日10:30~

会場 かんぼの宿日田
(日田簡易保険保養センター=日田市中ノ島)
日田会場以外に県内4ヶ所でも開催します(日田会場とは別日程)。

受験資格
学校・病院等の給食施設、または飲食店営業・魚介類販売業もしくは惣菜製造業で2年以上調理の業務に従事した人(その他要件があります。詳細はお問い合わせください)。

受講申し込み 当日会場で受け付けます(受講料9,000円が必要)。

その他 筆記具・弁当を持参してください。

問い合わせ 玖珠郡食品衛生協会 事務局 竹ノ井
☎ 72-1345

大分スポーツ公園にテニスコートと多目的運動広場が完成しました

九州石油ドーム等で親しまれている大分スポーツ公園にテニスコート(県内最大20面、うち照明設備12面)及び多目的運動広場(ソフトボール・軟式野球大会開催等に使用可)が4月1日にオープンしました。

利用日 1月4日~12月28日(木曜日を除く)

利用時間 午前9時~午後9時

利用料 ・テニスコート 1面1時間400円
(照明設備1面1時間300円)
・多目的運動広場 全面1時間1,200円
(半面1時間600円)

問い合わせ 指定管理者 大分スポーツ公園事業所
☎ 097-528-7700
<http://www.oita-sportspark.jp>



平成19年度銃砲刀剣類登録審査会

日時 いずれも水曜日です。
5月9日、7月11日、9月12日、11月14日、
1月9日、3月12日
時間は、10:30~16:00
(ただし12:00~13:00は昼休み)

場所 大分市大手町 県総合庁舎6階61会議室
(3/12は8階85会議室)

会場には現物と発見届出済証・登録手数料(1件6,300円)を持参してください。代理人でもけっこうです(ただし家族以外の代理人は委任状が必要)。
登録証を紛失した場合は、登録証の再交付を受けなければなりません(手数料1件3,500円)。
未登録物件の所持・売買はできません。

問い合わせ 大分県教育庁文化課
(☎ 097-536-1111 内線5496)

郡内アマチュアバンドの祭典 第8回アマチュアバンドチャリティーライブ

開催日 2007年4月22日(日) 午後1時から

会場 九重文化センター
出演バンド: G.G.バンド 他5組

入場料 500円(中学生以上)

問い合わせ 九重文化センター ☎ 76-3888

労働保険料の申告・納付は 5月21日までに

平成19年度の労働保険(労災保険と雇用保険)の年度更新手続きは5月21日までです。
労働者を雇用している事業主の方には「労働保険概算・確定保険料申告書」を郵送していますので、早めに手続をお願いします。
お問い合わせ・ご相談は大分労働局総務部労働保険徴収室(☎097-536-7095)まで。

西部地域農業塾の受講者募集

将来の農業の担い手を育成することを目的に開催します。
農業全般について学ぶことができます。

対象 これから就農を考えている人、農業に興味のある人など

内容 農業の専門家(普及指導員)が講師となり、授業を行います。

募集期間 5月7日~6月15日

開催時期 6月28日~8月23日の毎週木曜日
19:00~21:00(その他現地園場見学会あり)

開催会場 大分県日田総合庁舎、大分県玖珠総合庁舎

募集人員 各会場30名、15歳~65歳までの人

受講料 原則無料(必要に応じて徴収する)

申し込み・問い合わせ先
大分県西部振興局生産流通部 企画・流通班
☎ 0973-23-2217 FAX 0973-23-3473

3B体操を一緒にしませんか。 どなたでも参加できます。

日時 平成19年5月13日(日) 10:00~12:00

会場 九重文化センター体育館

当日申し込みになります。参加料は一人100円(保険料を含みます)です。運動に適した服装と体育館シューズ持参でお越しください。
3B体操とは…無理なく、楽しく全身を動かし、若さを維持するストレッチや基礎体力を維持する運動など、誰もが気軽にできる体操です。

問い合わせ 生涯学習課 ☎ 76-3823

優良運転者表彰(20年以上・15年以上) 申請のお知らせ

受賞資格

大分県交通安全協会玖珠支部の会員（運転免許更新時に協会費納入の方）であること。

運転免許取得後、現に自動車の運転に従事しており、次の要件を満たす方。（ ）内は15年表彰。

1. 自動車等の運転歴が6月1日現在で20年以上（15年以上）
2. 15年表彰（9年または10年表彰）を受賞済みであること
3. 過去20年（15年）以内に交通事故の当事者として刑事処分を受けたことのない方
4. 過去15年（10年）以内に交通関係法令違反により刑事処分を受けたことのない方
5. 過去10年以内に交通違反により告知されたことがない方
6. 人格円満にして業務に精励し、他の自動車運転者の模範と認められる方

申請受付期間・場所

20年以上 5月1日～5月31日

15年以上 6月1日～6月30日

9:30～17:00（土日祝を除く）

玖珠警察署管内の交通安全協会窓口

申請に必要なもの

運転免許証・印鑑・無事故無違反証明申請料700円・交通安全協会会員証

問い合わせ

交通安全協会玖珠支部事務局 ☎ 72-1661

平成19年 国民生活基礎調査を実施します

厚生労働省では、赤ちゃんからお年寄りまで、国民のすべての皆様に健康で明るく豊かな生活を送っていただくことができるようにと、保健・医療・福祉・年金・雇用対策など幅広い仕事を送っております。しかし、これらのためには、皆様の暮らしや働き方の実態を正しく知ることが必要です。

国民生活基礎調査は、こうした皆様の生活の実態を把握するために実施する大変重要な調査となります。調査の対象地区になりました世帯に調査員がお伺いしたときは、調査へのご協力をお願いします。

実施日程 4月下旬 事前準備調査
6月7日 世帯票、健康票、介護票
7月12日 所得票、貯蓄票

問い合わせ 大分県日田玖珠県民保健福祉センター
(旧 大分県日田玖珠保健所)
総務企画課 総務班 ☎ 0973-23-3133

大分県警察官募集

募集は警察官A、警察官A（女性）

試験受付期間は4月20日（金）まで

第1次試験日 5月13日（日）

問い合わせ

大分県警察本部警務課人事係 ☎ 097-536-2131

または玖珠警察署 ☎ 72-2131

油流出事故に注意！

重油タンクや廃油貯留缶などから、油が川や水路へ流出する事故が増えています。ひとたび油が川や農業用水路などに流れ出ると、魚や農作物へ悪影響を与え、上水道の取り入れ口に流れ込むと、給水停止といった重大な事態を引き起こす場合もあります。油を流出させた人は、オイルフェンス設置費用や油除去費用とともに、漁業や農業へ影響があった場合は、その補償費用も負担しなければなりません。

●油を取り扱う業者のみなさんへ

事故発生の原因の多くは「防油堤の水抜きバルブの締め忘れ」や作業員の「うっかりミス」によるものです。事業者のみなさんには、油設備周辺の管理を厳重に行うとともに、従業員に対する事故防止対策の徹底をお願いします。また、危険物許可施設では、定期的に保安講習を受けていただかなければなりません。詳しくは玖珠消防署にお問い合わせください。万が一事故が発生した場合は、乳化剤は使用せずに、油吸着マットなどで敷地外に流出しないよう努めてください。また川や水路などに流出した際は、速やかに下記機関にご連絡ください。

●川や水路で油膜や油臭を確認された住民のみなさんへ

速やかに下記機関にご連絡ください。魚が大量に死んでいたり、水質の汚れなどを発見したりした場合も同様をお願いします。

危機管理・町民安全課 ☎ 76-3801

大分県玖珠土木事務所 ☎ 72-1152

平成19年保育士試験受験のお知らせ

試験期日 筆記試験 平成19年8月7日(火)・8日(水)

実技試験 平成19年10月14日(日)

試験会場 別府大学 大分キャンパス (大分市野田380)

願書提出については、指定の封筒に関係書類を同封の上簡易書留で郵送してください。

願書の受付期間は平成19年5月11日（金）まで。

手引き等の配布については、4月27日（金）まで、役場教育振興課（☎ 76-3828）で配布します。

今月の 年金相談

日時 4月25日(水)10:00~15:00

場所 九重町役場1階・101会議室

今月の納税

【国民健康保険税】

納期限5月1日

寄り添い

春、4月——小さな背中に大きなランドセル、ピカピカの一年生の笑顔がいっぱい。「ランドセル」私が子どものころは、女の子は赤色、男の子は黒色のランドセルが普通でした。今は、それぞれ自分の好きな色のランドセルを選び、「みんなちがってみんないい」。希望に胸ふくらませ、新たなスタートです。新しい出会いも多くある時期、別れ、そして出会います。人は、ひとりで生きています。人は、ひとりで生きていません。お互いに寄り添い、支え合っています。きつとあなたのまわりにも

外国人の人権問題⑧医療をめぐる人権問題⑨様々な人権問題（個人情報保護、犯罪被害者支援、性をめぐる多様性の理解、ネット社会のモラル、職業に関わる差別など）等が考えられます。

自分の身近な人権をふりかえり、日常生活の中で、さまざまな矛盾や不合理、差別を見抜き、一人でも多くの人と、感想や意見を出し合って、おかしいことを変えていきたいですね。みんなの力で！人権？わかりにくくて……私にはあまり関係ない……そんな声を耳にします。

でも、自分の生き方に深く関わっているんですね。

いのちを大切にする気持ちや、お互いの違いに気づき、それを理解し認め合うことの大切なこと、相手の立場に立つこと、思い込みや偏見をなくし人権感覚を養うこと、私にもできること、少しずつ……そして、家庭で、学校で、地域で、みんなで寄り添い差別のない社会を、「みんな幸せ」に——

隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美



=2007年4月・5月休日当番=

病 院	月	日	医療機関名	住 所	電 話	
	4月	22日	北山田クリニック	北山田	73-2030	
			長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143	
		28日	玖珠記念病院	塚 脇	72-1127	
		30日	麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100	
	5月			友成(町田)医院	町 田	78-8811
				井上 医院	恵 良	76-2711
			三池循環器科内科医院	塚 脇	72-6101	
			友成(産婦人科)医院	塚 脇	72-0330	
			小 中 病 院	塚 脇	72-2167	
			高 田 病 院	春 日 町	72-2135	
		13日	武 田 医 院	森	72-0170	
			矢 原 医 院	野 上	77-6121	
	20日	北山田クリニック	北山田	73-2030		
		長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143		

歯 科 医	月	日	医療機関名	住 所	電 話
	4月	22日	(日田)相良歯科医院	日田市	0973-24-0580
		29日	林田 歯科 医院	引 治	78-8416
		30日	中村 歯科 医院	日田市	0973-23-2228
	5月	3日	はたの歯科医院	日田市	0973-22-7736
		4日	玉井 歯科 医院	恵 良	76-2018
		5日	(日田)井上歯科医院	日田市	0973-22-3305
		6日	伊藤 歯科 医院	日田市	0973-24-5700
		13日	樋口歯科クリニック	日田市	0973-22-8881
		20日	長 尾 歯 科	玖珠町	72-7122

獣 医	月	日	獣医師名	電 話
	4月	22日・30日	山本 獣医	78-9101
	5月	3日・4日・12日・20日・26日		
	4月	21日・28日・29日	甲斐 獣医	76-3324
	5月	5日・6日・13日・19日・27日		

★都合で変更する場合があります。

玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141
● 火災の確認は ☎72-5100

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

歳時記

季題

5月号

「路」小倉代
「鯉のぼり」
〔4月25日締切〕

6月号

「紫陽花(あじさい)」
「青田」夏の蝶
〔5月25日締切〕

今月の季題

「花」まはらばね 「特り」とこちり
「蛙」かえる 「おぼろ」

孫娘百日の膳に桜餅
一と頻り特りて発つ親子鳥
かじか聞き心静かに糸をたれ
花ふぶきくぐりて宮に参りけり
山桜万年山連山の霰々に
お洒落して友と遠出の花見かな
桃の花はらりと風に向きをかえ
孫一年じいじはあばの桜顔
何よりも孫の笑顔に花似合う
特りや目覚めて見れば日は高し
ペン重く眼疲れて蛙さく
青蛙浮葉に乗りてひと休み
何匹も蛙いるらし夜の池
山里の一人暮らしや蛙鳴く
歩を休めゆく爛漫花の坂


「孫娘百日の膳に桜餅」
孫の成長に桜餅はピッタリ。
「一と頻り特りて発つ親子鳥」
カンパローと親が子への励まし。「かじか聞き心静かに糸をたれ」釣人冥利に尽きる一幅の絵。情景が季題とずれていても、体験や観察でその気配を先取りして季題の句を詠む。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報グループまでご応募を。なお、応募作品は返却しません。

- 穴井久美子
赤峰 幸子
佐藤 修正
藤澤 節子
玉井多喜子
佐藤 節代
原田 勝子
湯浅加代子
森高マサヨ
佐藤 元八
井上 マキ
清竹 勇藏
伊東 匡子
小野ミツノ
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報



このえ 時間旅行

ふるさと再発見 150

地名を歩く 右田あれこれ(4)

九重町教育委員 甲斐素純

前田家の尊経閣文庫所蔵の「野上文書」には、文永九(一二七二)年二月朔日付の豊後守護大友頼泰より、御家人野上太郎(資直)あての守護所廻文がある。これによると、頼泰は「筑前・肥前両国要害守護事」として、九州に所領を持つ東国御家人に九州下向を命じ、豊後守護職の管轄下の御家人に対し、来たる三月朔日までに一族郎党を率いて警固に付くようにとの、「関東御教書」が到来したという。よって出立するを告げ、御家人・代官を現地に差し向け、

それぞれ警固箇所・役所を受け取って、在番するようにと命じている。
文書の端書に、「守護所廻文、筑前・肥前両国要害警固事、到来文永九二十六」とある。
二月一日付のこの書状が、同月十六日に野上氏のもとに到着している。鎌倉からの急用便が、十五・六日を経て野上へと届いている。建治元(一二七五)年には、異国警固番が実施されることになり、豊後は筑後と共に、秋の三ヶ月間を担当することになった。
建治元年六月五日付の大友頼泰から野上資直に出された書下によると、西方要害警固事、用意の為、自来七月朔日、至同月晦日、壹番衆の内として筑後国守護所辺に、むかいもうけさせ給へく候」とあり、「彼七月朔日よりはじめて壹ヶ月番にて、三番かへりにて候八んする也」ともある。秋三ヶ月の内を一ヶ月ごとに分け、順番に警固するとして、まず七月の一ヶ月を野上氏らに要害警固を命じている。

この出動命令には、次のような指示も添えられている。自身が重病などで行くことができない場合は、その理由を

書状に記し提出し、代官として子息をたてよ。また当番でなくても外敵が襲来したら、直ちに戦場へ馳せ向かわなければならぬともある。
幕府は、防御のために博多湾岸に「石築地」、つまり石の防塁・壁を築かせた。豊後国の分担は香椎前浜、豊前国は今宿海岸であった。石築地の最大高さは約二・一メートル、幅二・七メートルで、各人(御家人)の所領田地十アール(一反)に付き、長さ約三センチの割合で分担することとなった。また楯は田地十町歩に一枚、旗は五町歩に一本(長さ八尺)、征矢は一町歩に二筋の割合であった。

書状に記し提出し、代官として子息をたてよ。また当番でなくても外敵が襲来したら、直ちに戦場へ馳せ向かわなければならぬともある。
幕府は、防御のために博多湾岸に「石築地」、つまり石の防塁・壁を築かせた。豊後国の分担は香椎前浜、豊前国は今宿海岸であった。石築地の最大高さは約二・一メートル、幅二・七メートルで、各人(御家人)の所領田地十アール(一反)に付き、長さ約三センチの割合で分担することとなった。また楯は田地十町歩に一枚、旗は五町歩に一本(長さ八尺)、征矢は一町歩に二筋の割合であった。



福岡市今津海岸沿いに残る二元寇防塁(国指定史跡)

人の動き

弔慰

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
穴井 慶太	86	甘川水
永樂 ヒサノ	95	奥野一
末松 泰藏	79	中央五
高平 ヒサ子	89	川上一
竹内 和夫	79	前辻一
胤末 宣正	76	中央一
永野 カズ	97	麻生釣
日野 照生	74	小久保
日野 久	80	見留
渡辺 カツ子	80	桐木四

3月1日～3月31日届出分

(敬称略)

人口と世帯

人口	11,371 人 (-81)
男	5,388 人 (-40)
女	5,983 人 (-41)
世帯	3,913 (-8)

() は前月との増減

おなまえ	性別	保護者	行政区
麻生 侑暉	男	幸輝	川道団地
梅木 花凛	女	安裕	栗野本村
梅木 祐輔	男	清澄	松岡台住宅
川野 桃実	女	房人	無田下
佐藤 寛隼	男	栄二	菅原本村
武石 湮	男	奨	甘川水
日野 晴菜	女	隆一郎	中央三
松木 公平	男	幸則	川下北
森 海翔	男	和重	恵良団地

毎週火曜日は午後6時まで。窓口延長をします。

4月より、「ふれあい生活課」の窓口業務時間を毎週火曜日は午後6時まで延長しています。発行できる証明書は右のとおりです。



項目	証明書
戸籍・住民票関係	①戸籍全部及び個人事項証明書
	②除籍及び改制原戸籍謄本(抄本)
	③戸籍及び除籍記載事項証明書
	④戸籍の附票
	⑤住民票
	⑥住民票記載事項証明書
	⑦年金現況届・生存証明
	⑧印鑑登録証明書
	⑨外国人登録原票記載事項証明書
税関係	①納税証明書
	②課税証明書
	③所得証明書
	④所得・課税証明書
	⑤評価証明書(土地・家屋)
	⑥公課証明書(土地・家屋)
	⑦資産証明書
	⑧固定資産課税証明書
	⑨固定資産名義帳兼課税台帳の写し
	⑩軽自動車税納税証明書(継続検査用)

*火曜日が閉庁日の場合は、その週については窓口時間の延長を実施しません。
問い合わせ ふれあい生活課 ☎ 76-3802

吉本バラエティショー

漫才や奇術などで大いに笑って日頃の疲れをふっ飛ばしましょう!

出演 宮川大介・花子(漫才)、平和ラッパ・梅乃ハッパ(音曲漫才)、横木ジョージ&レミ(奇術)、シンクタンク(漫才)
日時 2007年6月20日(水) 午後7時開演(午後6時30分開場)
会場 九重文化センター
入場料 全席自由 一般前売り2,000円(当日2,500円) 高校生以下前売り1,000円(当日1,500円)

* 料金は宝くじの助成を受けるため、通常の約半額となっています。
* チケットは早めにお買い求めください。

問い合わせ 九重文化センター ☎ 76-3888

5月

町長と語る ふれあいタイム

5月12日(第2土曜日)
5月26日(第4土曜日)
 午前10時～午後4時(日中開催)

場所は町長室です。お気軽においでください。

もんじ

- 2007年度の九重町施政方針 2
- 2007年度の教育 8
- 寄付金条例の施行/行政事務組合発足 10
- 九重発世界へ/ハート降るここのえ 11
- ニュースクラップブック 12~14
- 副町長の選任/寿大学卒業式 15
- 児童手当制度/温泉館/防災 16
- 保健(栄養教室・よい歯・予防注射) 17
- 生きがいづくり大作戦/子育て講演会 18
- セクハラ防止対策/診療所より/119 19
- 農業委員会だより 20
- 図書館だより 21
- 暮らしの情報 22・23
- 人権/休日当番 24
- 歳時記/時間旅行 25

編集後記

● 映画を見たとき、一番心地いい時間は？最後に流れるエンドロールに一票という人も多いのではないだろうか。出演者やかわったスタッフ、協力企業などが印象的な音楽とともに紹介されるこの数分間、よい映画であればなおさら心地よいです。最近エンドロールが長すぎとの指摘もたまに聞きます。ただ、多くの人がかわったのだから、なるべくたくさん紹介したい。そんな作った側の気持ちもよくわかります。今月号が自分にとつてのエンドロールです。異動することになりました。新しい形の広報に向け、方向転換しようと思っていたので、変わる時期だったのかな、と思っっています。担当したのが5年。前半は市町村合併問題で揺れ、後半は自律に向けたまちづくりへ歩み始める。そんな時期に広報担当ができてとても幸運だったと思います。広報紙は「町の基礎体力」を作ることができず。その役に少しでも貢献できたこと、たまたまよかったなと思います。この間、たくさんの人と知り合い、お世話になりました。改めて、心から感謝です。毎号、目の不自由な人などへ、広報を朗読したテープを届けているボランティアのみなさん、いつも文字が多くて大変だったと思います。ありがとうございました。それと忘れてはならないのが、印刷会社のみなさん。こちらの注文をいつも快く受け入れてくれ、夜遅くまでがんばっていただきました。多くの人のつながりで作る広報担当の日々はとても充実していました。次の担当者にも言っています。「これほどおもしろい仕事はなかなかないよ」と。いつかまた、ここに帰ってきたいと思っています。

Kochi-T

● 4月の異動により、広報担当となった井上です。また、何もわからず四苦八苦しておりますが、「町民に親しまれる広報づくり」を目指してがんばります。初めは見苦しいところもあるかと思いますが、これからはよろしくお願ひいたします。

Naoki-I

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ